

2024年4月9日

各位

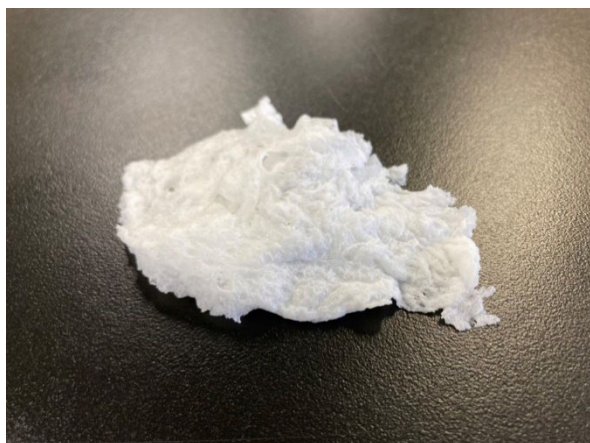
日本ゼオン、米国 Visolis 社と MOU (基本合意書) を締結
バイオイソプレンモノマー関連事業および SAF 事業の商業化促進により持続可能な社会の実現寄与

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:豊嶋 哲也 以下、ゼオン)は、2024年3月30日に Visolis, Inc. (米国カリフォルニア州、社長兼 CEO:Deepak Dugar 以下、Visolis 社)と、バイオイソプレンモノマーおよび持続可能な航空燃料(以下、SAF)などの商業化を促進するための MOU を締結しました。ゼオンは、CVC を運営する子会社 Zeon Ventures Inc. (米国カリフォルニア州、代表者:香川 佳宏)を通して、2023年2月に Visolis 社に投資したことを発表しており、今回の合意により持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速します。

バイオイソプレンモノマーは、バイオイソプレンゴム(バイオ IR)、バイオスチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体(バイオ SIS)および SAF などの原料となり、当社が中期経営計画 STAGE30 の全社戦略で掲げるカーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換の推進に大きく寄与することが期待される材料です。バイオイソプレンモノマーおよび SAF は、Visolis 社の特許取得済みの最先端技術を活用し、バイオマス原料を元に生物反応(発酵)と化学反応を組み合わせ製造されます。なお、今回ゼオンは、Visolis 社の独自技術で合成した、バイオイソプレンモノマーを用いたバイオ SIS の合成に世界で初めて成功しました。同時に Visolis 社はバイオイソプレンモノマーの製造能力を 50 倍スケールアップしています。

今回の合意に基づき、両社では、今後バイオイソプレンモノマーおよび SAF などの商業化の実現可能性を調査するとともに、ゼオンでは、バイオベース材料に対する高いニーズがある靴やタイヤなどの市場に対し、評価用製品サンプルの提案を開始いたします。



世界で初めて合成に成功したバイオ SIS



シート状に成型されたバイオ SIS

当社は、今後も独創的な技術・製品・サービスを通して、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献してまいります。

【Visolis 概要】

社名 : Visolis, Inc.
事業内容 : 合成生物学による高機能なカーボンニュートラル材料の製造
代表者 : Deepak Dugar
住所 : 1488 Zephyr Ave, Hayward, California 94544
URL : <https://www.visolisbio.com/>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747